

事業 122	事業名 林業管理費	担当部署	部名	産業経済部			
			課名	農林水産課			
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 豊かな大地に根ざすまちづくり				款	農林水産業費
	施策名(節)	第 2 節 森林の育成と林業の振興				項	林業費
	実施計画掲載	有	22 頁	個別計画		目	林業振興費
根拠法令・要綱等		射水市林道管理規程					

事業目的	対象	誰を・何を	全市民				
	意図	どのような状態に	市管理林道の維持補修 市有林の管理				
事業内容	手段	どのような方法で	市有林の下草刈り、除伐。市管理林道への敷砕石				

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等	平成22年度から23年度の決算額の減は補助金額の減額のため。 修景林整備事業補助金(風倒木処理)2,050,000円(H22年度単年度事業)
-----	-------	---

事業	122	事務事業名	林業管理費	担当課	農林水産課
----	-----	-------	-------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	林道補修敷砕石	m	20	30	30	100.0	30
活動指標	森林・林道パトロール回数	回	15	20	20	100.0	20

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	2,662 千円	1,508 千円	43.4	1,321 千円
	正規職員人件費相当額	552 千円	544 千円	1.4	544 千円
	退職手当引当金相当額	80 千円	76 千円	5.0	76 千円
	事業コスト計	3,294 千円	2,128 千円	35.4	1,941 千円
	財源内訳	1,230 千円	494 千円	59.8	千円
財源内訳	その他	40 千円	50 千円	25.0	570 千円
	一般財源	2,024 千円	1,584 千円	21.7	1,371 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.08 人	0.08 人	0.0	0.08 人
	臨時職員	人	人		人
利用者1人当たりコスト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説明
必要性	4	今後、搬出間伐を行うために、市有林や林道の維持管理をすることは重要である。
有効性	4	里山環境整備のため、市有林や林道の維持管理をすることは有効である。
達成度	4	林道の補修が計画的に行われている。
効率性	4	林道維持管理等の経費は最小限である。

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
国が推進する、森林・林業再生プランに基づく管理を行うため、本事業は極めて重要であり今後も計画的に実施する。					

事業 123	事業名 林業振興推進費	担当部署	部名	産業経済部			
			課名	農林水産課			
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-		
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち			予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 豊かな大地に根ざすまちづくり				款	農林水産業費
	施策名(節)	第 2 節 森林の育成と林業の振興				項	林業費
	実施計画掲載	有	22 頁	個別計画		目	林業振興費
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則					

事業目的	対象	誰を・何を	全市民				
	意図	どのような状態に	適切な森林整備を行うことで、水源涵養の機能の維持増進や保健文化機能の維持増進を図る。				
事業内容	手段	どのような方法で	カシノナガキクイムシによる森林被害の軽減対策				

補助金事業	類型区分						
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				

施設管理運営事業	施設名				管理形態		
					指定管理者名		
	構造・階数				指定管理期間		
	建築年度	改修年度			類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積			民間施設状況		
設備・規模							

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度		平成24年度		
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業	123	事務事業名	林業振興推進費	担当課	農林水産課
----	-----	-------	---------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果指標	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	森林病虫害等防除	m ³	20	35	35	100.0	38
活動指標	枯損木除去	m ²	10.33	15	15	100.0	19

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	457 千円	669 千円	46.4	750 千円
	正規職員人件費相当額	552 千円	544 千円	1.4	544 千円
	退職手当引当金相当額	80 千円	76 千円	5.0	76 千円
	事業コスト計	1,089 千円	1,289 千円	18.4	1,370 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	244 千円	432 千円	77.0
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	845 千円	857 千円	1.4	883 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.08 人	0.08 人	0.0	0.08 人
	臨時職員	人	人		人
利用者 1 人 当 たり コ ス ト		-	-		
うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
必要性	4	里山を整備することで、近年のツキノグマの異常出没に効果があり、またレクリエーション活動や教育の場として森林が活用されている。
有効性	4	森林の適切な整備は、山崩れや水害等を防ぎ、市民の生命と財産を守る重要な事業である。
達成度	3	森林病虫害等の被害防止や森林境界の明確化を計画どおり完了した。
効率性	3	森林整備計画に基づいた、計画的な施業を行っているため最小限の経費である

評価結果 (1次)	A	現行(計画)どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント	
国の木材自給率50%の目標に向けて、森林整備等を行い計画的な事業実施に努める。				

事業 124	事業名	林業構造改善事業負担金				担当部署	部名	産業経済部
		(林業振興推進費)					課名	農林水産課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	電話	82 - 1959	
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち				予算科目	会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 豊かな大地に根ざすまちづくり					款	農林水産業費
	施策名(節)	第 2 節 森林の育成と林業の振興					項	林業費
	実施計画掲載	無	22	個別計画			目	林業振興費
根拠法令・要綱等		林業構造改善対策事業における費用負担に関する協定書						

事業目的	対象	交付先	富山県西部森林組合振興対策協議会				
	意図	交付目的	間伐材生産を行うにあたり、作業員の労働安全衛生の向上を推進し、機械化による効率化で生産コストの削減を行う。				
事業内容	手段	補助金等の交付を受けて実施する主な活動	スイングヤード、ハーベスタ・プロセッサ、フォワーダを使い効率的な運用を行う。				

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	
		格差是正補助	利子補給	その他()		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		定額補助				
定率補助		H23 国県補助金 55% 市負担金 10% 内射水市 5%				
	その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
設備・規模						

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
	整備内容						

その他	特記事項等	平成22年度から平成23年度の決算額の増は、年度により高性能林業機械の総事業額の増減があり負担金もこれに伴い増減するため。
-----	-------	---

事業	124	事務事業名	林業構造改善事業負担金	担当課	農林水産課
----	-----	-------	-------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	素材生産	m ³	23,974	14,000	31,106	222.2	22,000

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)	310 千円	433 千円	39.7	267 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	552 千円	544 千円	1.4	544 千円
	退職手当引当金相当額	80 千円	76 千円	5.0	76 千円
	事業コスト計	942 千円	1,053 千円	11.8	887 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円	
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	942 千円	1,053 千円	11.8	887 千円
当該事務従事職員数	正規職員	0.08 人	0.08 人	0.0	0.08 人
利用者1人当たりコスト		-	-		
	うち一般財源ベース分	-	-		

評価項目	点数	説明
妥当性	4	国の木材自給率50%に向けた、搬出間伐の取り組みに重要な事業である。
有効性	4	林業の高性能機械化は、生産コストの低減と労働者の安全性に役立つ。
効率性	4	機械の維持管理は富山県西部森林組合で行っており、富山県西部の森林整備に効率的に運用している。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>林業生産の安定と労働衛生の向上のため、本事業は重要であり、今後も計画的に実施する。</p>				

事業 125	事業名	下刈作業学生導入特別対策事業補助金 (林業振興推進費)				担当部署	部名	産業経済部
							課名	農林水産課
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	-	予算科目	電話	82 - 1959
総合計画	施策の大綱	第 3 部 元気で活気あふれるまち					会計	一般会計
	政策名(章)	第 3 章 豊かな大地に根ざすまちづくり					款	農林水産業費
	施策名(節)	第 2 節 森林の育成と林業の振興					項	林業費
実施計画掲載		有	22 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則						

事業目的	対象	交付先	草刈り十字軍運動本部					
	意図	交付目的	森林整備の重要性を啓蒙し、山林業務への意識改革を図る教育活動を推進する。					
事業内容	手段	補助金等の交付を受けてる実施する主な活動	下草刈り作業					

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)				
		定額補助					
定率補助		補助率(県1/2市1/2)					
		その他					

施設管理運営事業	施設名				管理形態	
					指定管理者名	
	構造・階数				指定管理期間	
	建築年度	改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無	延床面積		民間施設状況		
	設備・規模					

施設等整備事業	総事業費	財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度		平成23年度		平成24年度	
	整備内容						

その他	特記事項等						
-----	-------	--	--	--	--	--	--

事業	125	事務事業名	下刈作業学生導入特別対策事業補助金	担当課	農林水産課
----	-----	-------	-------------------	-----	-------

成果指標	指標名	単位	H22年度実績	H23年度			H24年度目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
	利用者数 設定できる場合 ()	人					
	参加人数	人	13	13	13	100.0	13
	下草刈り面積	ha	3.8	3.8	3.8	100.0	3.8

事業費・人件費	事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
	事業コスト	直接事業費 (補助金等交付額)		168 千円	168 千円	0.0
(補助金等交付件数)		(1 件)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
正規職員人件費相当額			552 千円	544 千円	1.4	544 千円
退職手当引当金相当額			80 千円	76 千円	5.0	76 千円
事業コスト計			800 千円	788 千円	1.5	870 千円
財源内訳		国 県 支 出 金		84 千円	84 千円	0.0
	そ の 他	千円	千円		千円	
	一 般 財 源		716 千円	704 千円	1.7	704 千円
	当 該 事 務 従 事 職 員 数	正規職員	0.08 人	0.08 人	0.0	0.08 人
	利用者 1 人 当 た り コ ス ト		-	-		
	うち一般財源ベース分		-	-		

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	下草刈りをボランティア活動で行っており、活動経費を補助することは妥当である。
有効性	3	森林整備の重要性と環境保護教育の推進に有効な事業である。
効率性	3	農薬散布をせず、ボランティア活動による下草刈りを行っているため、総合的な経費を考慮して効率的である。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)	
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント	
<p>活動参加者を増やすため、今後は県、市、事業主体の三者が協力して、PRに努める。</p>				